



にじのはし幼稚園 園だより



令和3年1月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 酒井 正美

明けましておめでとうございます。

教職員一同力を合わせ、にじのはし幼稚園の教育活動を進めてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。ご家族でゆっくりと過ごされた家庭が多かったかもしれません。年末年始の伝統的な習慣や家事をお家の方と経験したり、家庭に持ち帰ったコマ等で繰り返し遊んだりしたことと思います。新しい年の始まり、そして、今年度の締めくくりの3学期の始まりです。これまでの経験を生かしながら、子供たちと遊びや生活を進めてまいります。

3学期の始業式では、「背筋を伸ばす。」ことを子供たちに話しています。「もう少しすると、年長組は1年生に、年中組は年長組に、年少組は年中組に、一つずつ大きくなりますね。」と話す、子供たちの瞳はうれしさにキラキラとします。「背筋を伸ばすと、素敵なお兄さん、お姉さんになります。」と、背筋を伸ばして見せると、子供たちの背中もピンと伸びます。

心と体はつながっています。背中を丸めて「困ったなあ。」と言うと、本当に困った気持ちになります。ですが、背筋を伸ばし「困ったなあ。」と言うと、不思議と困るよりも前向きに考える力が湧いてきます。また、話を聞くとき、背筋を伸ばし相手の顔を見ると、話をよく聞きとろうという意欲につながります。挨拶でも、背筋を伸ばし相手の顔を見てすることは、自分の思いを伝えるとともに相手を大切に思うことにつながります。

幼児期は小学校以降、また生涯につながる基礎を育てる大切な時期です。心構えや態度の基礎、そして健康や体力につながる「背筋を伸ばす」姿勢を身につけさせていきたいものです。就学への期待が高まる年長児は、これまでの積み重ねを基に自分で意識ができるように、年中、年少児は、挨拶や食事の前、学級で話を聞く、などの機会に知らせています。言葉掛けだけではなく、丸くなっている背中に手を添え、「ここを伸ばすといいよ。」と、背筋を伸ばすことを体感させたり心地よさを味わわせたりしています。子供たちの大きくなることへの期待やうれしさ、心地よさに共感し、また、周りの大人たちが、背筋の伸びた素敵な姿を見せていくようにしていきたいと思えます。

12月に実施しました学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。今年度の園の取組について、温かな言葉、前向きなご意見をいただきました。学校運営協議会の評価をいただいた後、結果と来年度に向けての方針について報告をいたします。